

第1回区政モニターアンケート結果

令和4年5月実施

1. 調査目的

■ 「区の基本計画について」

政策経営部 政策企画課

区では、区政運営の基本的な指針である「世田谷区基本計画」(平成 26 年度～令和 5 年度)を定めていますが、令和 5 年度に最終年度を迎えるため、令和 6 年度を初年度とする次期基本計画の策定に向けた検討を行っています。区の基本計画策定に向けたご意見を伺い、検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施しました。

■ 「気候危機に関する取り組みについて」

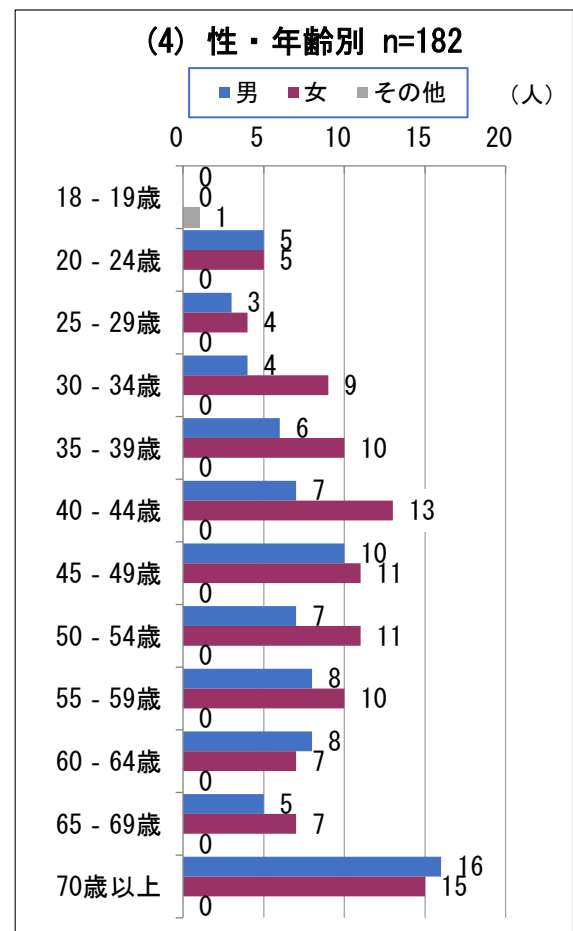
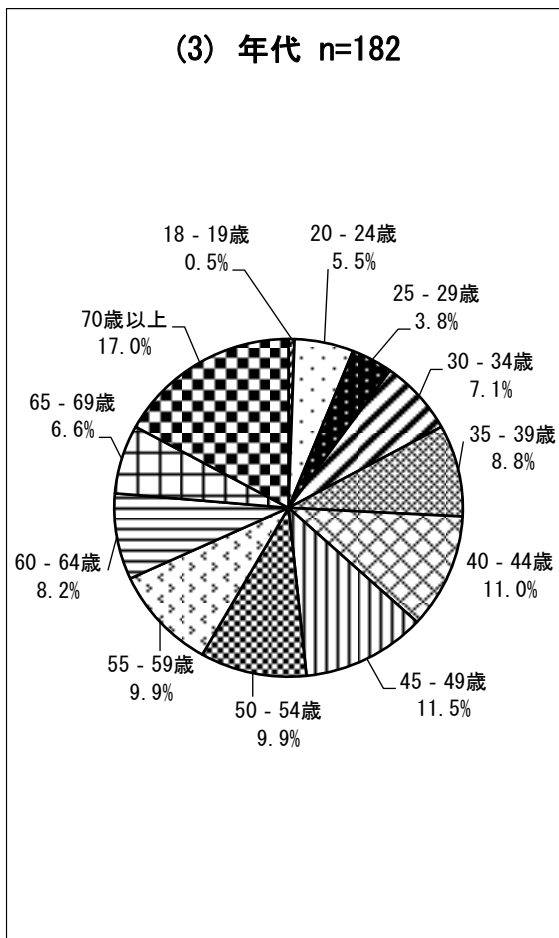
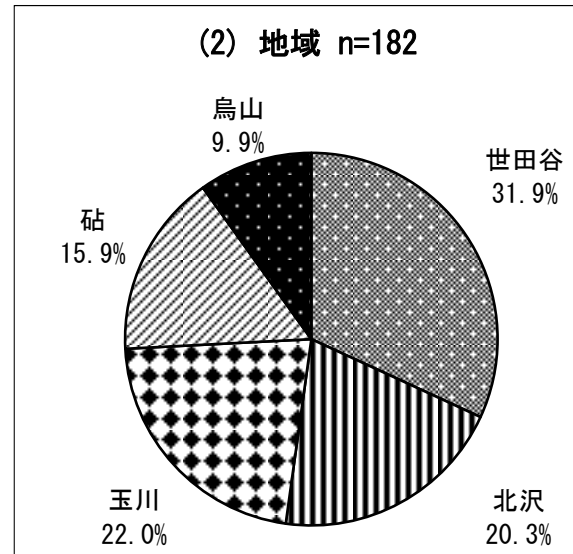
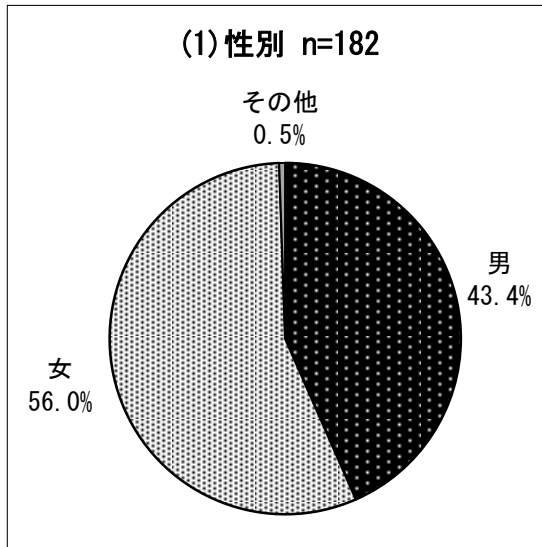
環境政策部 環境計画課

区では、「世田谷区地球温暖化対策地域推進計画」に基づき、気候危機に関する取り組みを進めています。現在見直しを進めている本計画の検討資料とするため、区政モニターアンケートを実施しました。

2. 調査設計

- (1) 調査対象 第 19 期区政モニター
- (2) 対象数 194 人
- (3) 調査方法 郵送配布・郵送回収法又は E メールによる送信・インターネットによる回答
- (4) 調査期間 令和 4 年 5 月 25 日から 6 月 8 日
- (5) 有効回答数 182 人 (回収率 93.8%)
数値の見方: 特に断りがない場合、すべての設問の n 値は 182 である。
※n 値とはサンプル数 (アンケート回答件数)

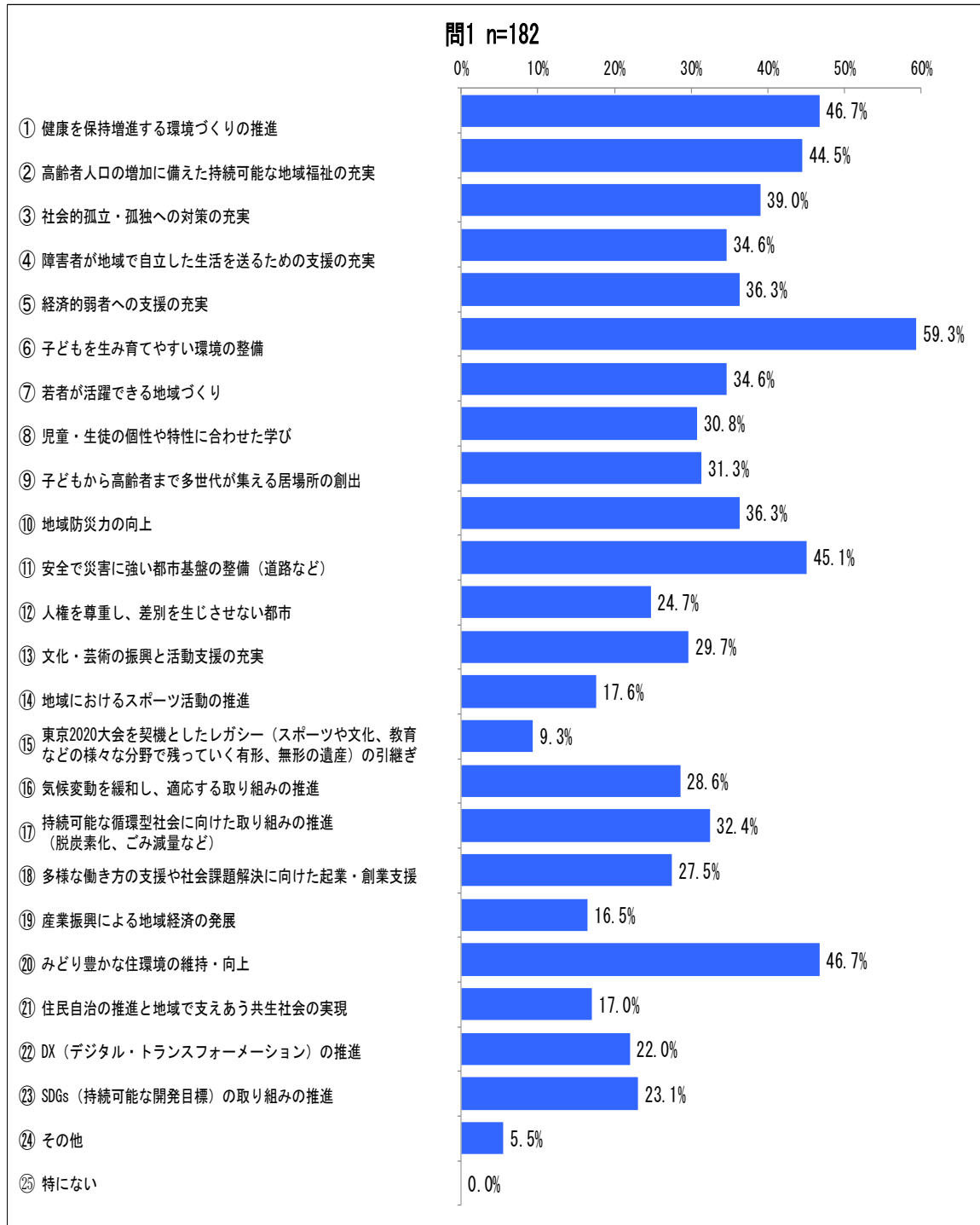
3. 標本構成



4. 質問と回答

■ 「区の基本計画について」

問1 これからの10年後を見据えて、次期基本計画（令和6年度～令和13年度）で期待する取り組みはどれですか。（〇はいくつでも）



<調査結果>

次期基本計画（令和6年度～令和13年度）において期待する取り組みについて聞いたところ、「子どもを生き育てやすい環境の整備」（59.3%）とほぼ6割で最も高い。

問2 問1で選んだ取り組みについて、選んだ理由をそれぞれお聞かせください。(記述回答)

①健康を保持増進する環境づくりの推進

- 生きるために健康が何より基本で必要だから。(他 5 件)
- 高齢化が進んでいる、高齢者が多いから。(他 4 件)
- 体を動かせる場所などの環境づくりをしてほしいから。(他 2 件)
- 持続的な社会にしたい、世田谷区に住み続けたいから。(他 1 件)

②高齢者人口の増加に備えた持続可能な地域福祉の充実

- 高齢者が安心、安全に暮らせる施策を充実してほしいから。(他 18 件)
- 少子高齢化が深刻化していて、今後さらに進みそうだから。(他 5 件)
- 高齢者が活躍できる社会になってほしいから。(他 4 件)

③社会的孤独・孤立への対策の充実

- 高齢者の孤独、孤独死が問題となっているから。(他 4 件)
- コロナ禍による影響で孤立が進んでいるから。(他 2 件)
- 地域でのつながりを増やす取り組みが必要だから。(他 2 件)

④障害者が地域で自立した生活を送るための支援の充実

- 自身が障害者、身近に障害者がいるから。(他 6 件)
- 障害者が活躍できるようにしてほしいから。(他 1 件)

⑤経済的弱者への支援の充実

- 経済的・社会的弱者への支援が必要だから。(他 10 件)
- 格差の是正が必要だから。(他 3 件)
- 公共サービスを充実させてほしいから。(他 3 件)

⑥子どもを生き育てやすい環境の整備

- 子どもを生き育てやすい社会にしてほしいから。(他 39 件)
- 少子化や人口減少社会が進んでいて、その対策が必要だから。(他 10 件)
- 子どもたちにとって安心して生活できる環境にしてほしいから。(他 9 件)

⑦若者が活躍できる地域づくり

- 地域の発展や活性化につながると思うから。(他 3 件)
- 若者が暮らしやすいようにしてほしいから。(他 3 件)
- 若者に住んでもらえるようにしたいから。(他 1 件)
- 次世代のための施策に注力してほしいから。(他 1 件)

⑧児童・生徒の個性や特性に合わせた学び

- 子どもや若者にとって良い地域にしてほしいから。(他 2 件)
- 地域の充実や発展につながると思うから。(他 1 件)
- 子どもの多様性に合わせた教育をしてほしいから。(他 1 件)

⑨子どもから高齢者まで多世代が集える場所の創出

- 多世代が集える施設や機会等を充実させてほしいから。(他 6 件)
- 地域内でのコミュニケーションを活性化させてほしいから。(他 2 件)
- 様々な世代が置き去りにならないようにしてほしいから。(他 1 件)

⑩地域防災力の向上

- 災害の被害があり、今後の対策が必要と感じるから。(他 6 件)
- 環境問題が深刻化しているから。(他 2 件)

⑪安全で災害に強い都市基盤の整備

- 地震等の災害が予測されており、備えが重要だから。(他 8 件)
- 災害に対応できる道路等のインフラ整備が必要だと思うから。(他 4 件)
- 次世代のためにより良い環境づくりが必要だから。(他 1 件)

⑫人権を尊重し、差別を生じさせない都市

- 多様性を受け入れる社会にしてほしいから。(他 2 件)

⑬文化・芸術の振興と活動支援の充実

- 文化・芸術を楽しめる環境をさらに充実させてほしいから。(他 4 件)
- 心身共に健康に過ごすために必要だと思うから。(他 1 件)

⑭地域におけるスポーツ活動の推進

- 心身共に健康に過ごすために必要だと思うから。(他 1 件)
- スポーツ施設が豊富で、さらに充実させてほしいから。(他 1 件)

⑮東京 2020 大会を契機としたレガシーの引継ぎ

- 施設等を有効に活用してほしいから。(他 2 件)

⑯気候変動を緩和し、適応する取り組みの推進

- 気候変動等の環境問題が深刻化しているから。(他 4 件)

⑰持続可能な循環型社会に向けた取り組みの推進

- 持続可能な社会を実現してほしいから。(他 4 件)
- 太陽光発電等のエネルギー政策が必要だから。(他 2 件)

⑱多様な働き方の支援や社会課題解決に向けた起業・創業支援

- 多様な生き方や働き方があるのが良いと思うから。(他 2 件)
- 世代を問わず活躍できる機会を増やしてほしいから。(他 1 件)

⑲産業振興による地域経済の発展

- 経済の安定や成長により共生可能な地域を作ってほしいから。(他 1 件)

⑳みどり豊かな住環境の維持・向上

- 緑を維持、増加させてほしいから。(他 9 件)
- 住みやすいまちにするため。(他 4 件)
- 災害や気候変動対策として自然を保護してほしいから。(他 2 件)
- 心が癒されるなど、メンタルヘルスに良いから。(他 2 件)
- 次世代に残すため。(他 2 件)

㉑住民自治の推進と地域で支えあう共生社会の実現

- 全ての人が住みやすい区になってほしいから。(他 1 件)

㉒DX の推進

- DX の推進により行政手続き等を利用しやすくしてほしいから。(他 2 件)
- IT 難民化を防ぐ取り組みが必要だから。(他 1 件)
- 便利な社会になってほしいから。(他 1 件)

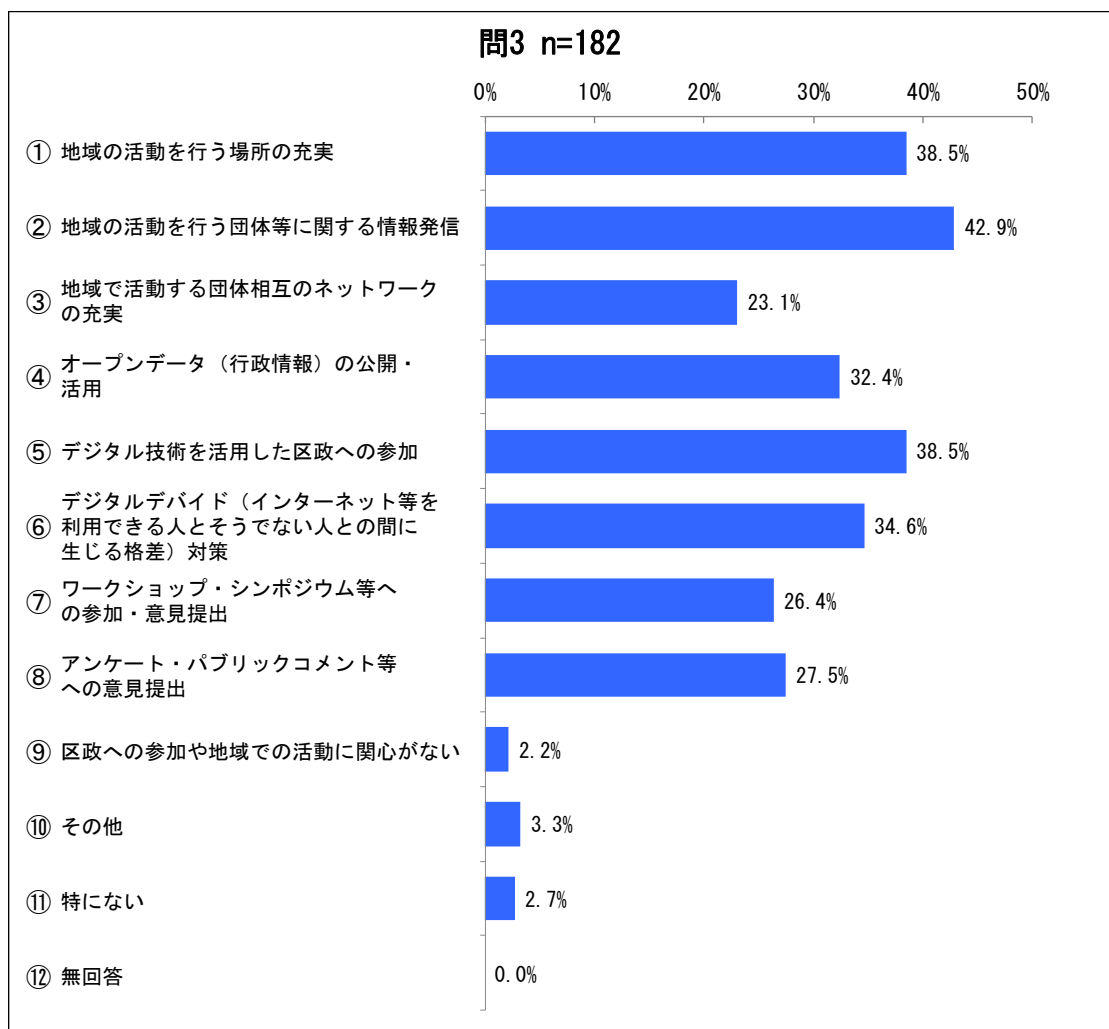
㉓SDGs の取り組みの推進

- 今後の重要課題であり、取り組む必要があるから。(他 3 件)

㉔その他

- 個の尊重をしてほしいから。
- 交通安全の強化が必要だから。
- 区の地域ごとの特色を活かしてほしいから。
- 留学生等と区内の学生たちが交流してほしいから。

問3 区では、区民の皆さんのまちづくりへの主体的な参加を一層広げていく必要があります。区民の皆さんが、区政への参加や地域での活動に主体的に取り組むにあたり、今後区に期待する取り組みはどれですか。（〇はいくつでも）



< 調査結果 >

区政への参加や地域での活動に主体的に取り組むにあたり、今後区に期待する取り組みについて聞いたところ、「地域の活動を行う団体等に関する情報発信」（42.9%）が4割を超え最も高く、次いで「地域の活動を行う場所の充実」（38.5%）、「デジタル技術を活用した区政への参加」（38.5%）が4割近くで同率と続く。

問4 問3で選んだ取り組みについて、選んだ理由をそれぞれお聞かせください。(記述回答)

①地域の活動を行う場所の充実

- コロナの影響もあり、自由に使えない場所があるから。(他 17 件)
- 地域活動を始めようと思っている人のきっかけになってほしいから。(他 7 件)
- 顔を合わせての意見交換が必要だから。(他 2 件)
- 交通の不便な場所もあり、興味があっても積極的な参加が期待できないから。(他 2 件)

②地域の活動を行う団体等に関する情報発信

- 情報発信が不足しており、団体等の詳細な情報を知る機会が少なく、参加者が限られているから。(他 28 件)
- 若い人にも参加を呼び掛けて、地域活動を活発にしてほしいから。(他 6 件)
- 行政側で情報をまとめてほしいから。(他 6 件)
- 情報が届きにくい区民にもしっかりと発信してほしいから。(他 2 件)

③地域で活動する団体相互のネットワークの充実

- 様々な団体があり、相互に交流できればよい効果が期待できるから(他 5 件)

④オープンデータの公開・活用

- オープンデータを公開することで、より多くの区民が地域活動に興味を持つきっかけになるから。(他 16 件)

⑤デジタル技術を活用した区政への参加

- 現役世代や若い人でも区政の参加がしやすくなるから。(他 31 件)
- 効率よく区政を運営できると思うから。(他 6 件)

⑥デジタルデバインド対策

- 高齢化が進むにつれて、ネット等が苦手な区民を取り残さないことが重要だから。(他 22 件)

⑦ワークショップ・シンポジウム等への参加・意見提出

- 積極的に参加して、地域とのつながりやコミュニケーションを増やしたいから。(他 2 件)
- ワークショップなどに申し込んでもほぼ落選してしまうので、参加人数の枠を増やすか、ワークショップの数を増やしてほしいから。

⑧アンケート・パブリックコメント等への意見提出

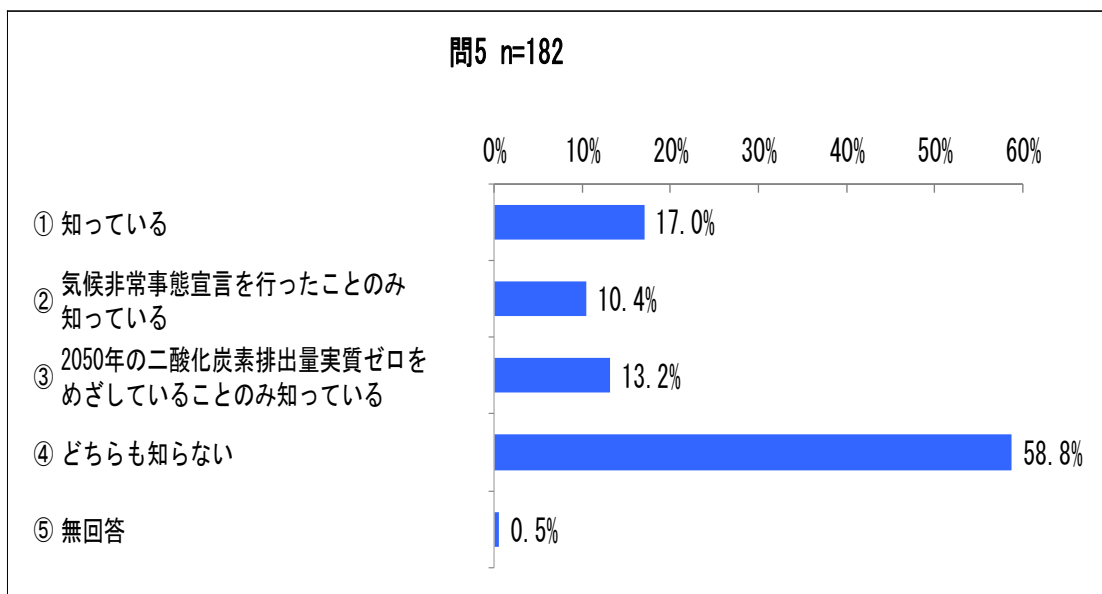
- 街のみんなが意見を言いやすい環境づくりをしてほしいから。(他 6 件)
- より良い生活のためには自ら区政にコメントしたいから。(他 5 件)

⑩その他

- 従来にない手法も活用して、行政と区民の双方向のコミュニケーションによるまちづくりが必要だと思うから。
- 時間のある区民に、ボランティアをしてもらえばよいと思うから。
- ウクライナ問題もあり、有事に備えた施策を期待したいから。

■ 「気候危機に関する取り組みについて」

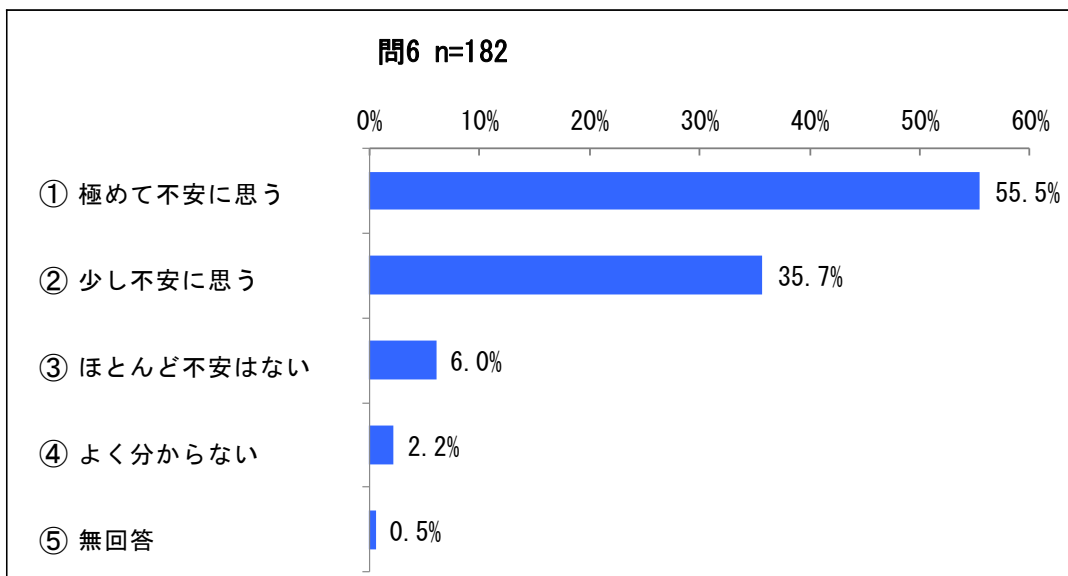
問5 区では、令和2年10月に気候非常事態宣言を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことを表明しました。このことについて、知っていますか。(〇は1つ)



<調査結果>

気候非常事態宣言を行い、2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことを表明したことについて知っているか聞いたところ、「どちらも知らない」(58.8%)と6割近くで最も高い。以下、「知っている」(17.0%)、「2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロをめざしていることのみ知っている」(13.2%)、「気候非常事態宣言を行ったことのみ知っている」(10.4%)と続く。

問6 地球温暖化に伴う気候危機について、どのように感じていますか。
(○は1つ)

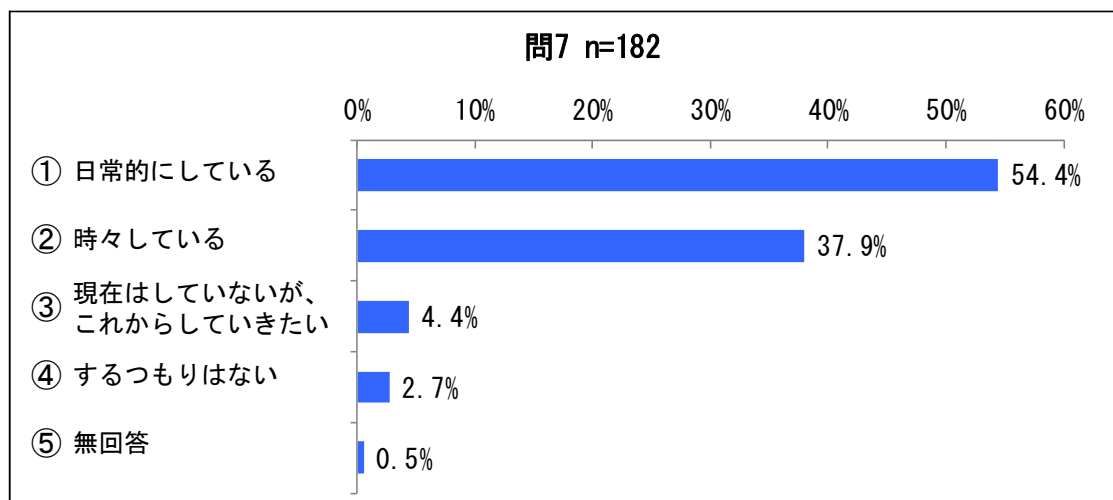


<調査結果>

地球温暖化に伴う気候危機について、どのように感じるか聞いたところ、「極めて不安に思う」(55.5%)が5割半ばで最も高く、次いで「少し不安に思う」(35.7%)が3割半ばとなっている。

問7 地球温暖化抑制につながる、省エネルギー行動（※1）をしていますか。
（○は1つ）

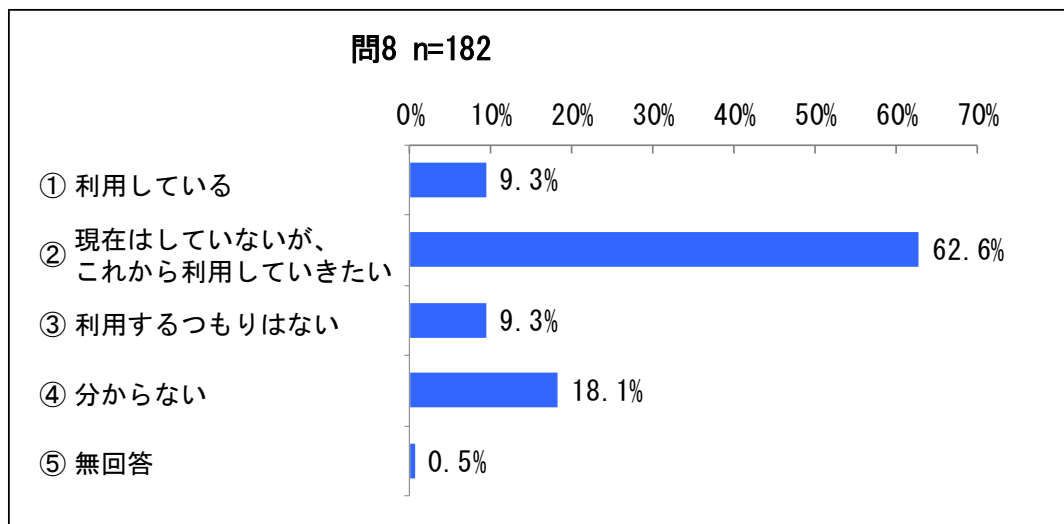
※1 省エネルギー行動の例・・・エアコンを使用するときは設定温度に気をつける、白熱電球をLEDランプに交換する、冷蔵庫にもものを詰め込みすぎない、こまめに水道の蛇口・シャワーを止める など



<調査結果>

地球温暖化抑制につながる、省エネルギー行動をしているか聞いたところ「日常的にしている」(54.4%)が5割半ばで最も高くなっている。以下、「時々している」(37.9%)、「現在はしていないが、これからしていきたい」(4.4%)、「するつもりはない」(2.7%)となっている。

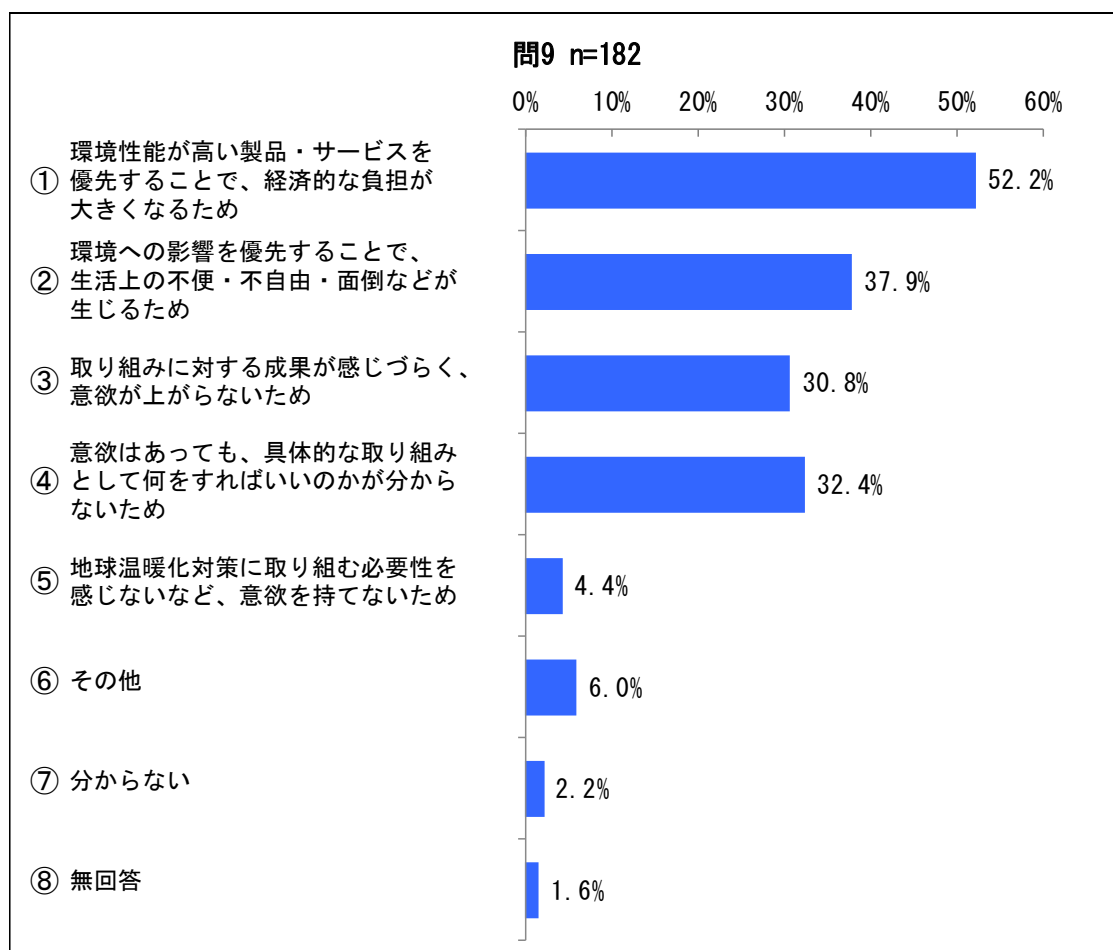
問8 太陽光・風力・地熱・水力・バイオマスなどの再生可能エネルギー（自然エネルギー）は、温室効果ガスを排出せず、国内で生産でき、地球温暖化抑制につながります。再生可能エネルギー（自然エネルギー）を生活の中で利用していますか。（〇は1つ）



<調査結果>

再生可能エネルギー（自然エネルギー）を生活の中で利用しているか聞いたところ、「現在はしていないが、これから利用していきたい」（62.6%）が6割を超え最も高い。次いで、「分からない」（18.1%）が2割近くとなっている。

問9 人の活動によるCO2の排出量は、世界的に増加傾向となっています。日常において、地球温暖化対策を妨げる理由として、あなたが考えられることは何ですか。(〇はいくつでも)



<調査結果>

地球温暖化対策を妨げる理由として考えられることは何か聞いたところ、「環境性能が高い製品・サービスを優先することで、経済的な負担が大きくなるため」(52.2%)が5割を超え最も高く、次いで「環境への影響を優先することで、生活上の不便・不自由・面倒などが生じるため」(37.9%)が4割近くとなっている。

**問10 2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するため、区として取り組むべきことは何だと思えますか。あなたの考えをお聞かせください。
(記述回答)**

情報発信について (49件)

(主な意見)

- 一人ひとりができることをわかりやすく区民に周知し続ける。
- 排出量実質ゼロにするにはどのような方法があるか知りたい。

再生可能エネルギーについて (36件)

(主な意見)

- 補助金を増やす・所得税制優遇策を講ずる。
- 個人では難しいので、新しく建つ施設、住居などに組み込めば良い。
- 区の施設は全て自然エネルギーを活用する。

電気自動車の普及、自動車の利用について (32件)

(主な意見)

- 電気自動車の税を優遇する。
- 電気自動車の充電があるシェアカー駐車場の拡大、電気自転車の貸し出しや返却スポットの拡充。
- 電気自動車の普及に取り組む。

補助金・ポイント・クーポンについて (26件)

(主な意見)

- 省エネ機器を導入した個人や事業者に補助金を出す。
- 省エネに貢献した世帯に補助や報酬があるとやる気が上がると思う。

ごみの分別・削減について (14件)

(主な意見)

- 省エネやリサイクルなどを区民が取り組みやすくなるような仕組みづくりをする。
- 産業における排出量の削減を推進すべき。
- ごみの分別を徹底する。広範なPRと厳しい罰則が必要。

省エネ政策について (14 件)

(主な意見)

- 若い人でも高齢者でもできることや習慣を広げることが大切だと思う。
- 区単位ではなく国全体で取り組むべきことと考える。

緑化推進について (11 件)

(主な意見)

- 小学校中学校での緑化運動は面積が広いので効果的だと思う。

企業・団体の協力について (11 件)

(主な意見)

- 先進的な取り組みをしている発電事業者との連携。
- 有望なベンチャーに、都と連携して出資する。

学校などでの教育について (6 件)

(主な意見)

- 学校などで説明会を開くといいかもしれない。
- 楽しんで排出量を減らせるような企画で区民に興味を持たせる。

具体的な成果の可視化について (5 件)

(主な意見)

- 各家庭の CO2 排出量の見える化の取り組みおよび段階的な排出量削減の数値目標設定。出量削減へのインセンティブ付与。

デジタル化の推進 (ペーパーレス化) (3 件)

(主な意見)

- デジタルを活用し、ペーパーレスで効率的な行政を実現。
- 年代によってはデジタル化して、ペーパーレスにする。

罰則等について (3 件)

(主な意見)

- 区内にある学校や企業などに対し、より一層の取り組みを求め、極度に目標を達成できなかった組織には罰則を課せばよいのではと考えました。

**問11 2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを達成するため、一人ひとりにできることは何だと思えますか。あなたの考えをお聞かせください。
(記述回答)**

日常生活での心がけ (66件)

(主な意見)

- 日々の生活における意識の向上。
- 一人ひとりが生活の中で省エネルギー行動に心がける。
- 節約の心がけ、当事者意識と危機感の共有。

節電・省エネ (52件)

(主な意見)

- 非常時以外も節電に取り組む。
- 区の取り組みにできるだけ積極的に参加して、活動する。
- 省エネ製品を購入して、無駄なエネルギーは使わない。

ごみ・レジ袋・食品ロス削減 (47件)

(主な意見)

- ごみの減量やリサイクルなどを心がけて生活する。
- ひとつのものを大事に丁寧に使いきる。
- レジ袋を買わずに、エコバッグを持参する。

自動車利用の見直し (20件)

(主な意見)

- できれば車に乗らない。
- 公共交通機関を使う。
- ガソリン車から電気自動車や水素自動車への転換。

その他 (24件)

(主な意見)

- 何をすればよいのか理解できていない。
- できることを少しずつ進めているが、達成感を得にくい。